

泌尿器科学

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	3 人	(2 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	3 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	5 人	
合計	17 人	

2 教員の異動状況

大園誠一郎（教授）	（H15. 4. 16～現職）
三宅 秀明（准教授）	（H27. 11. 1～現職）
古瀬 洋（講師）	（H14. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H22. 1. 1～現職）
大塚 篤史（講師）	（H15. 7. 1～助手、H19. 4. 1～助教、H27. 4. 1～現職）
杉山 貴之（助教）	（H21. 3. 16～医員、H21. 8. 16～診療助教、H23. 4. 1～現職）
松本 力哉（助教）	（H27. 4. 1～現職）
本山 大輔（助教）	（H25. 7. 1～診療助教、H27.7.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	10 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	31.88	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	3 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	7 編	(7 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	10 編	(8 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Fujita H, Takayama T, Takaoka T*, Tan C, Igarashi H, Sugimura H, Ozono S.: Validity of tissue microarray by immunohistochemistry. Clin Lab 61:569-574, 2015. [1.084]
2. Suzuki T, Otsuka A*, Matsumoto R, Furuse H, Ozono S.: The expression of $\beta 3$ -adrenoceptors and their function in the human prostate. Prostate 76:163-71, 2016. [3.565]

インパクトファクターの小計 [4.65]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Shinmura K*, Igarashi H, Kato H, Koda K, Ogawa H, Takahashi S, Otsuki Y, Yoneda T, Kawanishi Y, Funai K, Takayama T, Ozono S, Sugimura H.: BSND and ATP6V1G3: Novel Immunohistochemical Markers for Chromophobe Renal Cell Carcinoma. Medicine (Baltimore) 94:e989, 2015. [5.723]

インパクトファクターの小計 [5.72]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Inoue K*, Anai S, Fujimoto K, Hirao Y, Furuse H, Kai F, Ozono S, Hara T, Matsuyama H, Oyama M, Ueno M, Fukuhara H, Narukawa M, Shuin T.: Oral 5-aminolevulinic acid mediated photodynamic diagnosis using fluorescence cystoscopy for non-muscle-invasive bladder cancer: A randomized, double-blind, multicentre phase II/III study. Photodiagnosis Photodyn Ther 12:193-200, 2015. [2.014]
2. Nozawa M*, Mukai H, Takahashi S, Uemura H, Kosaka T, Onozawa Y, Miyazaki J, Suzuki K, Okihara K, Arai Y, Kamba T, Kato M, Nakai Y, Furuse H, Kume H, Ide H, Kitamura H, Yokomizo A, Kimura T, Tomita Y, Ohno K, Kakehi Y.: Japanese phase I study of cabazitaxel in metastatic castration-resistant prostate cancer. Int J Clin Oncol 20:1026-1034, 2015. [2.128]
3. Naito S, Sakai H, Hashine K, Tomita Y, Shinohara N, Fujisawa M, Eto M, Ozono S, Akaza H.: Phase I/II study of S-1 in combination with sorafenib for metastatic renal cell carcinoma. Ann Oncol 26:1871-1876, 2015. [7.040]
4. Yokomizo A, Kanimoto Y, Okamura T, Ozono S, Koga H, Iwamura M, Tanaka H, Takahashi S, Tsushima T, Kanayama HO, Akaza H, Shinohara N, Mugiya S, Nomata K, Nakamura T, Naito S*.: Randomized Controlled Study of the Efficacy, Safety and Quality of Life with Low Dose bacillus Calmette-Guérin

Instillation Therapy for Nonmuscle Invasive Bladder Cancer. J Urol 195:41-46, 2016. [4.360]

5. Kumondai M, Hosono H, Orikasa K, Arai Y, Arai T, Sugimura H, Ozono S, Sugiyama T, Takayama T, Sasaki T, Hirasawa N, Hiratsuka M*: Genetic Polymorphisms of CYP2A6 in a Case-Control Study on Bladder Cancer in Japanese Smokers. Biol Pharm Bull 39:84-89, 2016. [1.828]
6. Inoue K*, Matsuyama H, Fujimoto K, Hirao Y, Watanabe H, Ozono S, Oyama M, Ueno M, Sugimura Y, Shiina H, Mimata H, Azuma H, Nagase Y, Matsubara A, Ito YM, Shuin T.: The clinical trial on the safety and effectiveness of the photodynamic diagnosis of non-muscle-invasive bladder cancer using fluorescent light-guided cystoscopy after oral administration of 5-aminolevulinic acid (5-ALA). Photodiagnosis Photodyn Ther 13:91-96,2016. [2.014]
7. Akaza H, Uemura H, Tsukamoto T, Ozono S, Ogawa O, Sakai H, Oya M, Namiki M, Fukasawa S, Yamaguchi A, Uemura H, Ohashi Y, Maeda H, Saito A, Takeda K, Naito S.: A multicenter phase I/II study of enzalutamide in Japanese patients with castration-resistant prostate cancer. Int J Clin Oncol, in press. 2016. [2.128]

インパクトファクターの小計 [21.51]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 永田仁夫、鈴木孝尚、本山大輔、杉山貴之、大塚篤史、石井保夫、古瀬洋、大園誠一郎: 第30回前立腺シンポジウム記録: ポスター討論① ポスターセッション2; 1.当科にて治療を行った M0 High Risk 前立腺癌のまとめ. 泌外 28:1353-1355, 2015.
2. Ozono S: Management of elderly mCRPC patients. Prostate Int 3:S24-S25, 2015.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 野畑俊介、木内正太郎、渡辺めぐみ、田中常雄、森 厚嘉、鈴木美香、武藤繁貴、永田仁夫、大園誠一郎: 泌尿器癌と生活習慣 (喫煙・飲酒・肥満) との検討. 腎泌予防医誌 24:55-57, 2016.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大塚篤史、鈴木孝尚、松本力哉、大園誠一郎: 特集: 夜間頻尿を診る-これを読めば解決! IV. 診断と治療; 間質性膀胱炎に伴う夜間頻尿. 臨泌 69:486-492, 2015.
2. 大園誠一郎: 腎・泌尿器疾患 ②下部尿路疾患 (蓄尿障害・排尿障害). デンタルハイジーン別冊 歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック.:78-81, 2015.

3. 大園誠一郎.: Column3 男性に増えている前立腺癌. デンタルハイジーン別冊歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック: 139, 2015.
4. 古瀬 洋、大園誠一郎.: 特集:最新の前立腺がん診療のすべて 前立腺がんの治療「ホルモン療法」. 臨牀と研究 92:41-44, 2015.
5. 大園誠一郎.: 治療 TODAY : 去勢抵抗性前立腺癌 (CRPC) に対する治療. SRL 宝函 36:28-35, 2015.
6. 古瀬 洋、大園誠一郎.: 10. 前立腺癌のホルモン療法ってどんな治療? 泌尿器 Care&Cure uro-Lo 21:45-50, 2016.
7. 古瀬 洋、大園誠一郎.: 特集:ここが知りたい!筋層非浸潤性膀胱癌-エキスパートが答える日常診療の疑問点〈経尿道的切除術: TUR〉2nd-TUR の適応 質問: T1 high grade の場合、2nd-TUR は必ず施行しないとイケないのですか? 臨泌 70:132-138, 2016.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 大園誠一郎.: 第 10 章 泌尿器科腫瘍:筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療 - 「膀胱癌診療ガイドライン」の改訂を踏まえて- 「I.はじめに」. 日本泌尿器科学会 2015 年卒後教育テキスト、日本泌尿器科学会、東京、pp227、2015.
2. 大園誠一郎.: 第 10 章 泌尿器科腫瘍:筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療 - 「膀胱癌診療ガイドライン」の改訂を踏まえて- 「II.NMIBC のリスク分類と治療指針」. 日本泌尿器科学会 2015 年卒後教育テキスト、日本泌尿器科学会、東京都、pp228-229、2015.
3. 大園誠一郎.: 第 10 章 泌尿器科腫瘍:筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療 - 「膀胱癌診療ガイドライン」の改訂を踏まえて- 「V.おわりに」. 日本泌尿器科学会 2015 年卒後教育テキスト、日本泌尿器科学会、東京都、pp243、2015.
4. 大園誠一郎.: 20. 泌尿器・男性性器疾患:特発性腎出血. 今日の診断指針第 7 版、金澤一郎、永井良三 (編)、(株)医学書院、東京都、pp1746-1747、2015.
5. 大園誠一郎、古瀬 洋.: 膀胱癌診療ガイドライン 2015 年版. 日本泌尿器科学会 (編)、医学図書出版(株)、東京都、2015.
6. Ozono S, Umbas R, Akaza H, Cheng JC, Chung BH, Gupta N, Hinotsu S, Horie S, Kim CS, Kwak C, Kwong P, Lee JY, Lojanapiwat B, Namiki M, Eto M, Ou YC, Serrano D, Gee SH, Song JM, Ye D,

Zainuddin Z, Zhu G: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Asia Consensus Statement Version 3. 2016 -Kidney Cancer-. リノ・メディカル(株)、東京都、2015.

7. Akaza H, Umbas R, Cheng JC, Chung BH, Gupta N, Hinotsu S, Horie S, Kim CS, Kwon DD, Kwong P, Lee JY, Lojanapiwat B, Namiki M, Nishiyama H, Ou YC, Ozono S, Serrano D, Gee SH, Song JM, Ye D, Zainuddin Z, Zhu G: NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Asia Consensus Statement Version 1. 2016 -Bladder Cancer-. リノ・メディカル(株)、東京都、2015.

8. 大園誠一郎.: 19.泌尿器疾患 「水腎症」. 今日の治療指針 2016 年版 私はこう治療している (デスク版・ポケット版) . (株)医学書院、東京都、pp1171、2016.

9. 大園誠一郎.: 42. 腎臓・泌尿器系 前立腺肥大症・排尿障害治療薬. 治療薬ハンドブック 2016 薬剤選択と処方のポイント、(株)じほう、東京都、pp779-794、2016.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 大保亮一、大園誠一郎、荒井陽一.: 新・泌尿器科臨床病理学. (株)インターメディカ、東京都、2015.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 加藤大貴、松本力哉、水野卓爾、深澤洋敬、古谷隆一.: 多発する腎嚢胞感染に対し両側腎摘除術を行った多発性嚢胞腎の1例. 透析会誌 48:483-486, 2015.

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度	
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	3 件	(181 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(30 万円)
(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	1 件	(23 万円)
(4) 科学技術振興機構 (JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	4 件	(184 万円)
(8) 奨学寄附金	19 件	(1,309 万円)

(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

1. 大園誠一郎（代表者）基盤研究（C）、腎癌のFABP7機能解明とトリグセリド代謝の検討ならびに発癌予防に向けた探索、平成26年度～平成28年度、平成27年度：110万円（継続）
2. 大園誠一郎（分担者）基盤研究（C）、心停止後腎移植モデルにおける間葉系幹細胞の組織再生効果の検討、平成26年度～平成28年度、平成27年度：3万円（継続）、代表者：北里大学獣医学部講師 岩井聡美
3. 三宅秀明（代表者）基盤研究（C）、腎細胞癌に対するtemsirolimusおよびcustirsen併用療法の検討、平成27年度～平成29年度、平成27年度：68万円（新規）

(2) 厚生労働科学研究費

1. 大園誠一郎（分担者）総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究、平成27年度～平成30年度、平成27年度：30万円（新規）、代表者：独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター 堀部 敬三

(3) 日本医療研究開発機構（AMED）による研究助成

1. 大園誠一郎（分担者）標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発、平成24年10月～平成28年度、平成27年度：23万円（継続）、代表者：九州大学 ARO 次世代医療センター 中西洋一

(7) 受託研究または共同研究

1. 受託研究、古瀬 洋、SPP-005（5-ALA）による膀胱癌の光線力学診断に関する第Ⅲ相試験、SBIファーマ(株)、平成27年5月～平成30年3月、84万円
2. 受託研究、杉山貴之、未治療の進行性又は転移性腎細胞がん患者を対象に、ニボルマブとイピリムマブの併用療法とスニチニブの単剤療法を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験、小野薬品工業(株)、平成27年7月～平成33年3月、84万円
3. 受託研究、本山大輔、ハイリスクの非転移性去勢抵抗性前立腺癌を有する男性を対象としたODM-201の有効性及び安全性を検討する多国間、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験、バイエル薬品(株)、平成28年3月～平成34年3月
4. 受託研究、大園誠一郎、イクスタンジカプセル40mg 長期特定使用成績調査、アステラス製薬(株)、平成27年8月～平成30年11月、16万円

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	1件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	12件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	11件	53件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

【招待講演】

1. Ozono S.: Hormone therapy for prostate cancer and NCCN guideline Asia Consensus Statement. 2015 APPS Consensus Meeting. Oct, 2015. Seoul, Korea.

5) 一般発表

口頭発表

1. Suzuki T.: A temporal difference observed in the effect of dutasteride on reducing prostate volume depends on the degree of intravesical prostatic protrusion in male patients with benign prostatic hyperplasia. ICS 2015. Oct, 2015. Montreal, Canada.
2. Suzuki T.: Dutasteride add-on therapy improves bladder outlet obstruction in patients with benign prostatic enlargement : One-year follow up with urodynamic study. ICS 2015. Oct, 2015. Montreal, Canada.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 第 28 回日本老年泌尿器科学会、2015 年 5 月、浜松市.

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 大園誠一郎 : Primary ADT for localized PC -Japan and Asia. 第 103 回日本泌尿器科学会総会、2015.04. 金沢市.

4) 座長をした学会名

1. 大園誠一郎 : ディベートセッション 2 : 限局性前立腺癌の治療 -どんな人にどんな治療がお勧めか?- 第 103 回日本泌尿器科学会総会、2015 年 4 月、金沢市.
2. 大園誠一郎 : 日本泌尿器科学会卒後教育 第 10 章泌尿器科腫瘍 : 筋層非浸潤性膀胱癌の診断と治療-「膀胱癌診療ガイドライン」の改訂を踏まえて、第 103 回日本泌尿器科学会総会、2015 年 4 月、金沢市.
3. 大園誠一郎 : ランチョンセミナー26 : The growing importance of efficient androgen blockade in prostate cancer. 第 103 回日本泌尿器科学会総会、2015 年 4 月、金沢市.
4. 大園誠一郎 : 特別講演 : 高齢者医療における QOL の追及と SOL (Sanctity of life) の諸問題. 第 28 回日本老年泌尿器科学会、2015 年 5 月、浜松市.
5. 大園誠一郎 : シンポジウム 6 (指導医教育) : 転移性腎細胞がんに対する分子標的薬治療の選択と副作用マネージメント. 第 65 回日本泌尿器科学会中部総会、2015 年 10 月、岐阜市.
6. 大園誠一郎 : イブニングセミナー7 : 最新の知見から考える転移性腎細胞癌における最適な治療選択とは. 第 65 回日本泌尿器科学会中部総会、2015 年 10 月、岐阜市.
7. 大園誠一郎 : 基調講演 4 : Precision Medicine in Multidisciplinary Therapy for Renal Cancer. 第 53 回日本癌治療学会学術集会、2015 年 10 月、京都市.

8. 大園誠一郎：ワークショップ4 前立腺4：前立腺がんの手術療法と放射線療法. 第53回日本癌治療学会学術集会、2015年10月、京都市.
9. 大園誠一郎：シンポジウム3：腎癌薬物療法の最新の話. 日本泌尿器腫瘍学会第1回学術集会、2015年11月京都市.
10. 大園誠一郎：総会賞2Dビデオ9：HoLEP他. 第29回日本泌尿器内視鏡学会総会、2015年11月、東京都. (司会・審査員)
11. 古瀬 洋：一般演題口演17：膀胱腫瘍/BCG膀胱注・維持化学療法. 第103回日本泌尿器科学会総会、2015年4月、金沢市.
12. 古瀬 洋：一般演題口演：尿路上皮癌2. 第65回日本泌尿器科学会中部総会、2015年10月、岐阜市.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 大園誠一郎：日本癌治療学会・理事・監事
2. 大園誠一郎：日本癌治療学会・関連学会連絡委員会・委員長
3. 大園誠一郎：日本癌治療学会・癌取り扱い規約WG・委員長
4. 大園誠一郎：日本癌治療学会・がん診療ガイドライン委員会・尿路上皮がん・腎がん部門協力委員
5. 大園誠一郎：日本緩和医療学会・進行がん患者の泌尿器症状ガイドライン・外部評価委員 (日本癌治療学会)
6. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・代議員
7. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・腎癌診療ガイドライン作成委員会・委員長
8. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・前立腺癌診療ガイドライン作成委員会・(化学) 予防班・班長
9. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・倫理委員会・委員
10. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・中部連合地方会・運営委員
11. 大園誠一郎：日本泌尿器科学会・東海地方会・運営委員
12. 大園誠一郎：日本泌尿器腫瘍学会・監事
13. 大園誠一郎：日本老年泌尿器科学会・評議員
14. 大園誠一郎：日本泌尿器内視鏡学会・評議員
15. 大園誠一郎：日本女性骨盤底医学会・理事
16. 大園誠一郎：日本性機能学会・理事
17. 大園誠一郎：日本腎臓学会学術・学術評議員
18. 大園誠一郎：日本透析医学会・評議員
19. 大園誠一郎：日本排尿機能学会・代議員
20. 大園誠一郎：日本アンドロロジー学会・評議員
21. 大園誠一郎：日本Men's Health医学会・評議員
22. 大園誠一郎：BCG注入療法研究会・代表世話人
23. 大園誠一郎：腎癌研究会・会長
24. 大園誠一郎：腎癌研究会・将来計画委員会・委員長
25. 大園誠一郎：J-CaP研究会・理事
26. 大園誠一郎：泌尿器科分子・細胞研究会・世話人

27. 大園誠一郎：日本腎泌尿器疾患予防医学研究会・世話人
28. 大園誠一郎：尿路悪性腫瘍研究会・プログラム委員
29. 大園誠一郎：抗悪性腫瘍薬開発フォーラム・幹事
30. 大園誠一郎：静岡県腎不全研究会・会長
31. 大園誠一郎：静岡県泌尿器科医会・会長
32. 大園誠一郎：公益財団法人静岡県腎臓バンク・理事
33. 大園誠一郎：American Urological Association(AUA)・International Member
34. 大園誠一郎：American Society of Clinical Oncology(ASCO)・Member
35. 大園誠一郎：Société Internationale d'Urologie(SIU)・Member
36. 大園誠一郎：International Continence Society(ICS)・Member
37. 大園誠一郎：Asian Pacific Prostate Society(APPS)・Executive Committee
38. 大園誠一郎：NCCN Asia Consensus Statement・Panel Member
39. 三宅 秀明：日本泌尿器科学会・代議員
40. 三宅 秀明：日本泌尿器内視鏡学会・評議員
41. 三宅 秀明：日本アンドロロジー学会・評議員
42. 三宅 秀明：泌尿器科分子・細胞研究会・評議員
43. 三宅 秀明：腎癌研究会・世話人
44. 三宅 秀明：近畿内視鏡外科研究会・世話人
45. 三宅 秀明：単孔式内視鏡手術研究会・世話人
46. 三宅 秀明：日本泌尿器科学会・前立腺癌診療ガイドライン作成委員会・診断班・班員
47. 三宅 秀明：日本泌尿器科学会・編集委員会・編集幹事
48. 三宅 秀明：American Urological Association(AUA)・International Member
49. 三宅 秀明：Société Internationale d'Urologie(SIU)・Member
50. 三宅 秀明：Endourological Society・Member
51. 三宅 秀明：American Association for Cancer Research(AACR)・Member
52. 三宅 秀明：European Society of Medical Oncology(ESMO)・Member
53. 古瀬 洋：日本泌尿器内視鏡学会 代議員
54. 古瀬 洋：日本泌尿器科学会東海地方会 運営委員 (2016年6月から交代)
55. 古瀬 洋：静岡県泌尿器科医会 幹事 (2016年度は交代)
56. 古瀬 洋：静岡泌尿器腹腔鏡研究会 世話人
57. 古瀬 洋：静岡県内視鏡外科研究会 世話人
58. 古瀬 洋：静岡県腎移植研究会 世話人
59. 古瀬 洋：静岡県腎移植担当医懇談会 世話人
60. 古瀬 洋：静岡県臓器提供・移植対策懇談会 世話人
61. 古瀬 洋：浜松泌尿器科手術手技研究会 世話人
62. 大塚 篤史：東海排尿障害研究会、世話人
63. 大塚 篤史：静岡県 LUTS 研究会、世話人
64. 大塚 篤史：NPO 日本コンチネンス協会東海支部 顧問

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	3件	1件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

1. 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology, Associate editor, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有
2. 三宅 秀明：International Journal of Urology, Deputy editor, PubMed/Medline 登録有, インパクトファクター有
3. 三宅 秀明：International Cancer Conference Journal, Editorial board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 大園誠一郎：IBIMA publishing, Editorial Board, PubMed/Medline 登録無, インパクトファクター無

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

- 大園誠一郎：Japanese Journal of Clinical Oncology 15回 (Japan)
- 大園誠一郎：GaBi Journal 1回 (Belgium)
- 大園誠一郎：Urologia Internationalis 1回 (Switzerland)
- 大園誠一郎：Prostate International 1回 (Korea)
- 大園誠一郎：Cancer Science 1回 (England)
- 大園誠一郎：International Journal of Urology 1回 (Australia)
- 古瀬 洋：International Journal of Urology 1回 (Australia)
- 古瀬 洋：Japanese Journal of Clinical Oncology 1回 (Japan)
- 古瀬 洋：Journal of Taibah University Medical Sciences 1回 (Saudi Arabia)
- 大塚 篤史：Expert Opinion On Drug Discovery 1回 (USA)
- 大塚 篤史：Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology 1回 (Australia)
- 鈴木 孝尚：Canadian Urological Association Journal 2回 (Canada)
- 鈴木 孝尚：BMC surgery 1回 (UK)
- 鈴木 孝尚：Japanese Journal of Clinical Oncology 1回 (Japan)

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	2件
(2) 国内共同研究	11件
(3) 学内共同研究	1件

(1) 国際共同研究

1. 早期前立腺がんに対する PSA 監視療法：国際共同比較研究 (PRIAS-JAPAN)、日本（香川大学 筧善行）・欧州 8 カ国、平成 25 年 8 月～28 年 3 月
2. 早期前立腺癌に対する PSA 監視療法における[-2]proPSA の有用性の検討－Prostate Cancer Research

International:Active Sureveillance (PRIAS) での国際共同比較－ (PRIAS－JAPAN 付随研究)、日本 (香川大学 筧 善行)・欧州 8 カ国、平成 25 年 8 月～28 年 3 月

(2) 国内共同研究

1. High grade T1 膀胱癌の second TUR 後 T0 患者に対する BCG 膀胱内注入療法と無治療経過観察のランダム化第Ⅲ相試験 (JCOG1019)、Japan Clinical Oncology Group(JCOG)泌尿器科腫瘍研究グループ、平成 23 年 10 月～平成 33 年 9 月
2. 分子標的薬の治療効果の組織学的判定基準を確立を目的とした多施設共同研究、腎癌研究会 (慶応大学)、平成 24 年 11 月～平成 27 年 10 月
3. 腎細胞癌患者における mTOR 阻害剤の免疫調整機構に対する多施設共同研究、J-TORIM (熊本大学)、平成 25 年 1 月～平成 28 年 12 月
4. 女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験、浜松医大泌尿器科および関連施設、平成 25 年 1 月～平成 27 年 4 月
5. 表在性膀胱癌の再発に対する MMC と THP の膀胱腔内注入療法無作為化第三相試験、浜松医大泌尿器科及び関連 18 施設、平成 25 年 6 月～平成 28 年 3 月
6. 腎細胞癌における分子標的治療薬の組織学的な治療効果の解析、慶應義塾大学 (代表)、平成 25 年 7 月～平成 27 年 10 月
7. 低用量 BCG 膀胱腔内注入維持療法の再発予防効果ならびに安全性に関するランダム化比較試験、九州大学病院 (代表)、平成 25 年 9 月～平成 30 年 9 月
8. 転移性腎細胞癌に対する 1 次 IL-2+IFN α 併用/2 次 Axitinib 逐次療法群と 1 次 Sunitinib/2 次 Axitinib 逐次療法群における有効性・安全性に関するランダム化比較試験 (Escape study)、金沢大学 (代表)、平成 26 年 1 月～平成 28 年 12 月
9. 低リスク前立腺癌患者を対象とした低用量クロルマジノン酢酸エステルのアクティブサーベイランス継続率に対する効果を検討する多施設共同、プラセボ対照、無作為化二重盲検群間比較試験 -PROSAS-Study-、香川大学 (代表)、平成 26 年 7 月～平成 30 年 12 月
10. HLA-A24 陽性のドセタキセル不適格再燃前立腺がんに対するテーラーメイドがんペプチドワクチン療法の第Ⅱ相臨床試験、久留米大学 (代表)、平成 27 年 1 月～平成 30 年 5 月
11. 5-アミノレブリン酸 (5-ALA)による蛍光膀胱鏡を用いた膀胱癌の光学的診断 (経口 5-アミノレブリン酸 (5-ALA)投与後の蛍光膀胱鏡による膀胱癌に対する光学的診断の安全性・有用性に関する臨床研究 (ALAB-O)、高知大学 (代表)、平成 27 年 1 月～平成 27 年 12 月

(3) 学内共同研究

1. 生活習慣と泌尿器科疾患の遺伝環境表現型相関、病理学第一、平成 26 年 6 月～平成 31 年 5 月

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	2 件

1. 東レ (株) : ヒト膀胱標本を用いたアドレナリン β 3 受容体作動薬の比較検討
2. アステラス製薬(株) : 女性過活動膀胱患者に対するミラベグロンとイミダフェナシンの無作為化群間比較試験

15 新聞、雑誌等による報道

1. 大園誠一郎：トイレの悩み相談してみませんか? 静岡新聞、2015年4月20日.